# JCIレース・トゥ・ゼロ・サークル

# ②-2:JCIミニマム要件での誓約フォーム

# 自治体

JCI レース・トゥ・ゼロサークルでは、2050年までにネットゼロに向けてコミットするJCIメンバーについて、参加を集めています。

JCIレース・トゥ・ゼロサークルに参加することで、国内外への皆様の活動の発信、相互交流、政策エンゲージメントなどの機会にお声がけをいたします。皆様からの提案も歓迎いたします。

なお、年に1回、CDP-ICLEI統一報告システム[[1]](#footnote-1)か、JCI独自の報告フォームにて、進捗をご報告いただきます。

**誓約**

我々は、**JCI レース・トゥ・ゼロ・サークルのミニマム要件**[[2]](#footnote-2)以上の中期削減目標を達成しつつ、2050年までにレース・トゥ・ゼロ定義に基づくネットゼロ[[3]](#footnote-3)を目指します。

団体名：　　　　　　　　　　　　　　役職：

日付：

署名：

お名前：

この文書の署名フォームに必要事項を記入・署名し、コピーを JCIレース・トゥ・ゼロ・サークル事務局（register@japanclimate.org）に返送してください。またご署名は、各組織の代表レベル（自治体首長）のお名前でお願いします。

JCIレース・トゥ・ゼロ・サークルチームの事務局は、署名されたコミットメントレターを受理する前に、デューデリジェンス審査を行う権利を有します。受理についての判断が決定しましたら、記載いただいた連絡先にご連絡いたします。

## **基本情報**

※JCIメンバーのみがJCIレース・トゥ・ゼロ・サークル参加の誓約を行うことができます。メンバーになっていない方は、JCIへの参加をお願いいたします。会費はございません。

いずれか選択ください。

JCIに既に参加している。

本申込みと同時にJCIにも参加する。※別途お申込みが必要です([JCIウェブサイト](https://japanclimate.org/))。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 日本語 | 英語 |
| 組織名称 |  |  |
| 本件連絡先：お名前 |  |  |
| 本件連絡先：E-mail |  | |

1. **ネットゼロの時期を教えてください。（必須）**

|  |  |
| --- | --- |
| 目標年 | 要件 |
| 年 | 2050年以前である必要があります。 |

1. **中期（2030年）の削減目標を教えてください。（必須）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 基準年 | 目標削減率 | 要件 |
| 年 | ％ | ミニマム要件（直線にて2.5%(10年で25%)以上）を満たす貴自治体の**2030年総量**削減目標をご記入ください。 |

1. **貴自治体の最新年の排出量実績について教えてください。（必須）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 部門・分野 | 回答（単位：トン） | 要件、備考 |
| [ ]年・年度 | 産業部門 |  |  |
| 業務その他部門 |  |  |
| 家庭部門 |  |  |
| 運輸部門 |  |  |
| 廃棄物分野 |  |  |
| CO2計 |  |  |
| その他温室効果ガス |  |  |
| 合計 |  |  |

1. **最新年のインベントリの詳細を記載しているURLがあれば教えてください。（任意）**

|  |
| --- |
| （日本語） |
| （英語） |

1. **最新年のインベントリについて何かお知らせすべき内容があれば記載ください（除外等）。（任意）**

|  |
| --- |
|  |

## **どうやって達成するのか**

**1年以内の新たな行動についての誓約（必須）**

レース・トゥ・ゼロでは、気候変動への対策の緊急性の認識から、すぐに行動を起こすことを誓約いただいています。誓約から1年以内に、以下のリストから少なくとも2つについて、これまでやっていることに加えて、新たな対策の実施を約束してください。また、全て実施済みである場合は、その旨記載のあるチェックボックスをチェックの上、何か追加的に実施することを「その他」をチェックした上、記載ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 追加実施対策等 | 具体的な内容（今後行いたい追加的内容について記載ください） |
|  | 組織や自治体のトップが主導する脱炭素化のタスクフォース等を構築する |  |
|  | 電力の再エネ契約への切り替えや再エネ設備導入の検討を始める |  |
|  | 省エネできる箇所について検討チームを構築する |  |
|  | 再エネ・省エネ・創エネ短期目標の引き上げを行う |  |
|  | サプライヤーへの排出削減や目標設定を依頼する |  |
|  | 顧客や関係者(学生、住民等)への排出削減や目標設定を依頼する |  |
|  | インターナルカーボンプライスや、自治体内での炭素税(カーボンプライス)や排出量取引の検討を始める |  |
|  | 脱炭素のために必要な技術の洗い出しを行い投資計画を策定する。 |  |
|  | 製品やサービスの脱炭素化のための検討チームを構築する |  |
|  | 上記すべて実施済みである |  |
|  | その他 |  |

1. **ネットゼロの達成に向けた戦略を記載ください。（必須）**

|  |
| --- |
|  |

1. **毎年の報告は何を通じておこないますか？（必須）**

|  |  |
| --- | --- |
|  | CDP-ICLEI統一報告システム |
|  | JCIフォーム |
|  | その他（　　　　　　　　　　　　） |

※ご記載いただいた基本情報A～Dは、JCIウェブサイトのメンバーページにて掲載し、紹介させていただきます。

なお、JCIレース・トゥ・ゼロサークルでは、他のレース・トゥ・ゼロパートナーへの参加を推奨しております。該当する橋渡しをいたしますので、ご興味のある方は下チェックボックスをつけてください。（任意）

　他のレース・トゥ・ゼロパートナーイニシアチブへの参加について連絡をしてほしい。

1. cdp.net参照 [↑](#footnote-ref-1)
2. スコープ1・2については合算で最新インベントリ年(排出量算定年、本誓約提出年より2年前以降)から、目標年2030年までにすべての温室効果ガス排出総量(除外は5%まで可)を直線で①年率2.5% (10年で25％削減)より大きく削減する。スコープ3については、組織構成員・従業員等(大学の場合は従業員数)が500名以上である組織・団体は、スコープ3の概算を行い、スコープ3がスコープ1+2+3の合計の40%を超える場合、スコープ3についてその2/3以上をカバーする目標を設定する必要があります。スコープ3の目標水準は、最新のインベントリ年から2030年までに直線で年率1.23%(10年で12.3％削減)での総量削減を約束します。 [↑](#footnote-ref-2)
3. SBTイニシアチブによるネットゼロの定義に従うものとします。 [↑](#footnote-ref-3)